

図書館通信

10月のイベント

状況により変更・中止する場合はホームページやX(旧twitter)で随時お知らせします。

★秋の読書週間イベント 10月27日(日)～11月9日(土) ●雑誌付録プレゼント抽選会

期間：10月27日(日)～11月10日(日)
内容：期間中5点以上借りた方に応募券を配布します。
ご希望の付録にお申込みください。期間中は何度でも応募できます。(1日1回まで)
結果発表：11月24日(日)※図書館まつり当日
受取期間：11月24日(日)～12月1日(日)

●ダンボの会のおはなし会

日時：10月27日(日) 10:30～(50分程度)
場所：1階 おはなしコーナー
内容：読み聞かせボランティア「ダンボの会」による小さい子向けのおはなし会です。

●しょうちゃんと遊びま専科

「オリジナルえんぴつを作っちゃおう!」の参加者を募集しています

日時：11月3日(日) 14:00～
場所：2階 企画研修室 ※要申込
内容：しょうちゃんと一緒に、自分だけのオリジナルえんぴつ工作を楽しみます。
対象：小学生(保護者同伴)
※カッターを使用します
持ち物：軍手をお持ちください
定員：8組(1組で2つ作れます)
受付：9月28日(土)～
※定員になり次第終了
申込：カウンター・お電話



お問い合わせ：市員図書館 ☎68-4380

市員町立図書館

〒321-3423
栃木県芳賀郡市員町市塙147
Tel 0285-68-4380
URL <https://www.library.ichikai.tochigi.jp/>



ホーム
ページは
こちら



ホームページでも図書館通信を見ることができます



ツイッターでも
情報配信中!

市員町立図書館
『いっとくん』
@ittokun_ichikai



★開館時間 9:30～19:00★



★蔵書点検による
休館のお知らせ★

10月8日(火)～10月11日(金)
の期間は蔵書点検のため休館となります。

皆さまが利用しやすいように所蔵資料の点検整理を行います。
期間中の本の返却はブックポストをご利用ください。CD・DVDは蔵書点検後、開館中にカウンターへ返却してください。
ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。下記カレンダーもご参照ください。

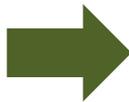


★いちかい図書館まつり
開催します★

11月24日(日)に第12回いちかい図書館まつりを開催する予定です。
詳細は次号でお知らせします。お楽しみに!



フリーマーケットの
出店者募集中!
詳細は裏面をご覧ください



図書館カレンダー

10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31*		

11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

…休館日 ※月末資料整理日

☆11/24…いちかい図書館まつり



第12回いちかい図書館まつり フリーマーケットの出店者を募集しています

開催日時：令和6年11月24日（日）
10:00～15:00 ※雨天中止
場 所：市貝町立図書館 駐車場
募集区画：17区画（235cm×480cm程度）
募集期間：9月22日（日）から募集中 ※未成年不可
出店品目：家庭の不用品・手作り品・農産物（加工品は不可）など
※社会通念上並びに法律に反するもの・生き物・医薬品・食品全般・
コピー品・危険物（刃物その他）などは出品をお断りします
出店費用：無料
申込方法：カウンター・お電話 ※定員になり次第終了



今月の スタッフおすすめ本

一般書

「メメンとモリ」

ヨシタケ シンスケ // 著
(KADOKAWA)

絵本でおなじみのヨシタケシンスケさんですが、今回は一般書でのご紹介です。

ヨシタケさんの著書は、気軽に読んでみると、心にずしんとくるメッセージが隠れていることがあると感じますが、この作品も同じです。ちなみにタイトルをカタカナにすると「メメント・モリ」となり、ラテン語で

『死を想え』という意味になります。姉弟のメメンとモリが、自由に、自分たちの心に従って、日々を過ごしている様子は、癒しと共に忘れていた大切な何かを思い出させてくれそうです。秋の読書にいかがでしょうか？

(スタッフ：くろまめ)

児童書（中学年向け）

「マンガ&図解 新しい紙幣の物語」

木平 木綿 // 編
(Gakken)

2024年の夏に、お札が20年ぶりに新しくなりました。新しいお札に描かれている人物は「渋沢栄一」「津田梅子」「北里柴三郎」です。その3人の生涯や紙幣のしくみを楽しくわかりやすく説明されている1冊です。旧紙幣の事も紹介しているので違いを見つけてください。

(スタッフ：くるりんパンダ)

YA（中高生向け）

「アリスのうさぎ」

斉藤 洋 // 作 森泉 岳土 // 絵
(偕成社)

とある理由から、市立図書館の〈児童読書相談コーナー〉でアルバイトを始めた“わたし”へ持ち込まれる相談は、児童書の枠に収まらない奇妙な体験話の数々で……。こちらの司書さんの元に集まった不思議な体験物語を、ぜひ読んでみてください。

(スタッフ：寿司アイス)



しょうちゃん のひやりひや

誰もが持つであろう故郷の言葉「方言」。知らない土地を訪ね、聞きなれない言葉に出会うと、私は意味や由来を知りたくなります。特に、東日本大震災以降「がんばっぺ」といった「方言エール」をよく聞くようになりました。人が暮らすコミュニティにはある一定の規模があり、そこに生きる人たちが共有できる文化があります。方言もその表現手段として生まれ、生きてきました。しかし国が一つのまとまりとして機能するようになった結果、コミュニティ本来の規模が侵されるようになって標準語が重視され、ある時は「方言なんて田舎者」と、いわば馬鹿にするような風潮さえ生まれました。でもそれは違うと思う。方言でしか表現できないことは多くあります。ひとつ例を挙げると、「でえじげー」は「大丈夫ですか」の意味ですが、独特のニュアンスは標準語では表現しきれません。方言で「がんばっぺ」というと、土地の人にはより心に響きます。故郷の言葉の大切さや力に人々が気付き始めたのです。古典を読んだり、外国語を聞いたりしたときに「この言葉の意味は何だろう」と思って調べると、「ああ、背景にこんな考え方、文化があったのか」とわかります。方言も同じで、日本の多様な文化を理解する一つの糸口なのです。ぜひ方言の魅力を将来に伝えたいと思う一人です。